



2024年2月14日

各位

会社名 株式会社 QD レーザ
代表者名 代表取締役社長 菅原 充
(コード番号: 6613 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 経営企画室長 幸野谷 信次
(TEL. 044-333-3338)

一般財団法人トヨタ・モビリティ基金「Make a Move PROJECT (Mobility for ALL 2023)」の採択のお知らせ

当社は、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金（理事長：豊田章男 トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長）が主催する「もっといいモビリティ社会」をつくるアイデアコンテスト「Make a Move PROJECT」の「Mobility for ALL 2023」部門において、提案プロジェクトが2023年5月15日付にて採択されましたのでお知らせいたします。

記

1. アイデアコンテストの概要

トヨタ・モビリティ基金（以下、TMF）はモビリティを通じてより豊かな社会の実現を目指す財団です。TMFは2022年6月から「もっといいモビリティ社会」をつくるアイデアコンテスト「Make a Move PROJECT」を開催しています。2023年もアイデアの社会実装プロジェクト「Mobility for ALL 2023」部門にて募集を行いました。プロジェクトのキャッチコピーは「移動の可能性を、すべての人に。」であり、誰もが自由に移動し、自分らしくいられる社会を目指すアイデアコンテストです。障がいのある方が、レース観戦を楽しむための課題やハードルを乗り越えるアイデアを募集したものです。

2. 提案プロジェクトの概要

株式会社 QD レーザ（以下、QD レーザ）は、「Mobility for ALL 2023」に対して「レーザ網膜投影で感動を瞳に。ロービジョン者によるレース観戦・撮影」と題するプロジェクトを提案いたしました。高性能カメラの映像を網膜に直接投影するビューファインダを使って、モビリティリゾートもてぎでのレース観戦と写真撮影を実現するプロジェクトです。

QD レーザは創業より培ったレーザ・光学設計のノウハウを応用して、網膜に映像を直接投影する技術「VISIRIUM テクノロジー」を開発しています。これまでに網膜走査型レーザアイウェア「RETISSA Display」シリーズ、網膜投影型拡大読書器「RETISSA ON HAND」、眼の健康チェック機器「RETISSA MEOCHECK」などとして実用化してきました。

また、QD レーザはこれまでロービジョンの方の”見えづらい”を”見える”にかえるプロジェクト「With My Eyes（以下、WME）」を推進してまいりました。WME では、写真撮影を通じてロービジョンの方にクリエイティビティを発揮して頂ける網膜投影型ビューファインダ「RETISSA NEOVIEWER」を開発しました。NEOVIEWER は WME の主要賛同企業であるソニー株式会社（以下、ソニー）のご協力のもと、同社のデジタルスチルカメラ サイバースhots と組み合わせ、網膜投影カメラキット「DSC-HX99 RNV kit」として発売されています。

今回の提案プロジェクトでは、より高性能で高度な撮影が可能なカメラ（ソニーのデジタル一眼カメラ α（Alpha）シリーズを想定）と組み合わせることができる次世代の網膜投影型ビューファインダのプロトタイプ*を開発します。

*本プロジェクトで開発の新たな網膜投影型ビューファインダは技術検証、製品性検討のためのプロトタイプ

プであり、製品化ではありません。

3. 活動期間及び交付金額

活動期間：2023年5月19日～2023年11月30日

交付金額：18,692千円

4. 業績に与える影響

上記、営業外収益につきましては、本日公表の「2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に反映しております。

以 上